

自主的・協働的に学ぶ

第2回授業研究会

6月20日（金）、今年度2回目の授業研究会を行いました。

お招きした講師の先生は、

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部

学力調査官 （併）教育課程調査官

川上 真哉先生

東部学校教育事務所 指導主事

平井 章大先生

北部学校教育事務所ハマアップ 授業改善支援員

永池 啓子先生

横浜市立三保小学校 校長

鈴木 康史先生 です。

今年度も、「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成 ～一人ひとりが『自覚的な学び』を繰り返す学びのデザイン～」をテーマに授業研究会を行い、授業力を向上させていきます。

1年4組

単元名 「とうじょうじんぶつになりきって、げきあそびをしよう」

教材名 「おおきなかぶ」

登場人物の行動をもとに場面の様子を想像して、グループの友達とせりふを調整したり、推敲したりする学習に取り組みました。かぶが抜けなかったときのせりふ、仲間を呼びに行くときのせりふ、かぶが抜けたときのせりふについて、お話の内容に合っているか友達と見合いました。友達の視点や意見を取り入れたり、自分で考え直したりすることで、書き直したり、書き加えたりして自分の考えを明確にすることができました。



2年3組

単元名 にんぼう！しらはたマットどうじょうであそぼう！

教材名 マットを使った運動遊び「器械・器具を使つての運動遊び」

「マット遊びの忍法をマスターし、遊び方を工夫して遊ぼう」という目的をもち、学習に取り組みました。慣れの運動やばっちりメニューで基本的な動きを確認した後、マスターした動きをもとに道具などを使い、どうすればもっと楽しく遊べるのかを考えました。

友達の動きを見ながら真似したり、一緒にできる遊びの工夫を考えたりすることで、より楽しくマット遊びができることを学びました。



4年3組

単元名 電気ので車を走らせよう！！

～学習してきたことをもとに予想を立て問題を解決しよう！～

教材名 「電気のはたらき」

実験のポイントを友達と確認しながら、乾電池2個を使い、「回路のつなぎ方を変えると電気のはたらきは変わるのか」という問題について実験をして調べました。友達と結果を比べる中で、同じ数の電池でも回路のつなぎ方によっては、電気のはたらきや電流の大きさが変わるのかもしれないと気付きました。



2年2組

単元名 「あったらいいな」と思うものをくわしく考えて、友達に発表しよう。

教材名 「あったらいいな、こんなもの」

日々の生活の中で、こんな道具があったら便利だなと思うものを考え、友達に発表するという目的をもち、学習に取り組んでいます。道具の詳細を考えるために、友達にいろいろな質問をする活動を行いました。「どうやって使うんですか。」「しまうときはどうするんですか。」「道具の名前は何か。」「など、友達の道具の説明から気になったことを質問することで、考えを引き出す姿が見られました。



5年1組

単元名 受けつがれる生命～ヒトのたんじょう～

教材名 「ヒトのたんじょう」

「羊水は赤ちゃんを衝撃からどのように守っているのか、モデル実験を通して考えよう」という目的をもち、学習に取り組みました。友達と自分の結果を見比べて、羊水のはたらきについて考えました。実験をしていく中で、「もしも羊水が半分しか入っていなかったらのはたらきはどのようなのだろう。」などと、新たな疑問が生まれて、確かめていくことでより考えを深めました。



6年1組

単元名 作戦を生かして、つないで、打って、得点を決めよう

～6年1組 ソフトバレーボール大会～

教材名 「ソフトバレーボール」

「チームの特徴をつかんで作戦を立てること」「楽しいゲームにすること」という目的をもってソフトバレーボールに取り組みました。慣れの運動から、場をどのように使うかを考え、自分たちの作戦に合った練習を考えて取り組みました。また、ゲームを通して自分たちの作戦がどうだったかを考えたり、見直したりしながら学習を進めました。

